

学校法人 桃山学院

将来構想

2023-2027

- The 1st phase for 2050 -



学校法人 桃山学院

桃山学院のパーパス

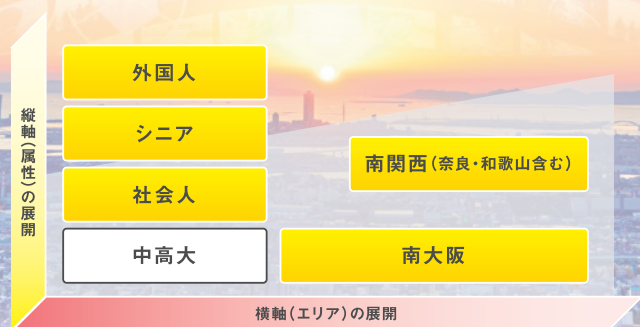
教育機関としての存在意義、社会的意義

私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、
社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人
(サーバント・リーダー)を育て、
持続可能な地域共生社会を実現します。

桃山学院は、生徒・大学生層にとどまらずに、
対象を横軸と縦軸に面的な展開を図ります。

具体的には、横軸として、南大阪、更には南関西(奈良、和歌山など含む)を
基盤にしながら、縦軸として、小・中・高・大、ビジネス層など社会人、
シニア、外国人までを対象に、総合的な教育サービスを提供します。

これによって、桃山学院は、地域と共に発展し、
人口問題、少子高齢化問題、外国人受け入れ問題などの
地域の社会課題解決に寄与します。



中期的な計画



教育研究の更なる発展

- ① 地域貢献
- ② 国際交流
- ③ 職業教育
- ④ 外国語教育
- ⑤ 健康・スポーツ振興

「自由と愛の精神」に根ざし、 共に考え行動する 「世界の市民」の養成

- ① 地域に根ざし、世界に通用する桃山学院大学へ
- ② 桃山学院中学校高等学校を日本一の学校へ
- ③ 教育改革を支える、経営基盤の構築へ

地域と共に発展する

私たちは、SDGsを推進し、地域における社会課題を解決し、持続可能な社会を共創します。

地域の未来を共創する

すべての人が生涯を通じて学び続けられる総合的な教育サービスを提供し、持続可能な地域社会を実現します。

桃山学院の教育理念

気候変動、人口減少社会、およびテクノロジーの進展等、外部環境の急速な変化に対応するための起点として、本学院の教育理念に立ち返り、これを再確認します。

「自由と愛の精神」に根ざし、 共に考え行動する「世界の市民」の養成



C.F.ワレン師

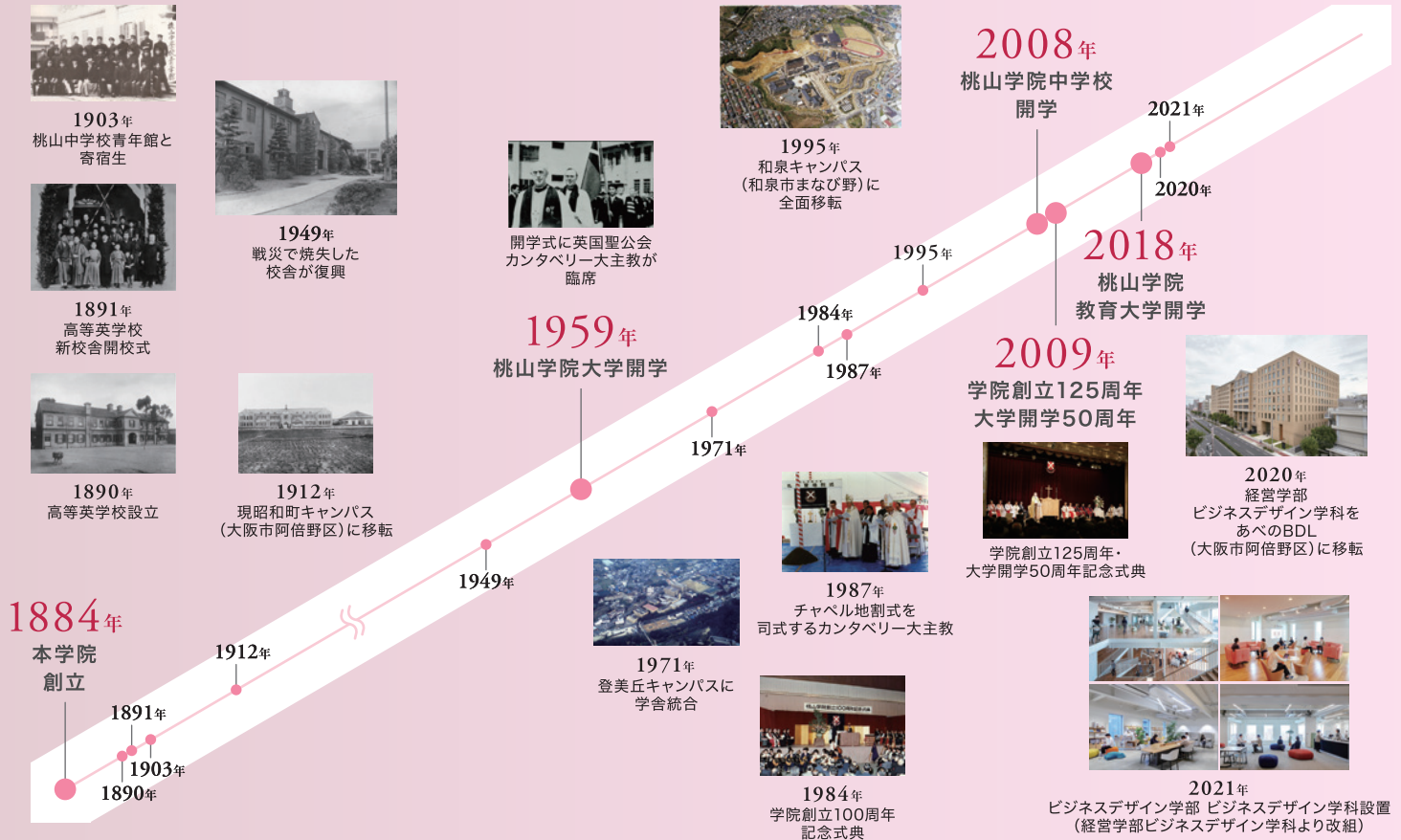
Charles Frederick Warren
1841-1899

桃山学院のキリスト教精神について

本学院はC. F. ワレン師をはじめとする英国聖公会の宣教師たちによって創設されました。この『聖公会』の信仰を基盤として生まれた本学院の学院章には“SEQUIMINI ME”(我に従え)《マルコによる福音書1章17節》という言葉が刻まれています。これはイエスの最初の弟子となったアンデレが、「わたしについてきなさい」とイエスに呼びかけられた言葉です。この呼びかけは私たち桃山学院の構成員への呼びかけでもありと理解し、学院のモットーとして学院章に掲げています。

アンデレは、イエスを神の子・キリストと信じ、イエスが教えた「自由と愛の精神」をもって生きることを自らの使命として選び、生涯を通してこれに従いました。そして迫害にも動じることなくイエスへの信仰を貫き通して、ついに殉教しました。

学院章にある「アンデレ・クロス」(X字型の十字架)は殉教したアンデレがX字型の十字架に架けられたことがその由来です。



内部環境

第二期中長期ビジョンの主な成果(2013年~2022年)

桃山学院大学

- 入試改革、退学率の改善
- 2021年度ビジネスデザイン学部設置
- 2022年度ソーシャルデザイン学科名称変更等

桃山学院教育大学

- 2018年度設置者変更により開設
- 2021年度収容定員増
- 2021年度教員採用試験等合格実績向上等

桃山学院中学校高等学校

- 「S英数コースを大阪の私学No1に」というKPIに対して、大阪府内の私学4位、全体6位に順位上昇等

経営基盤の構築

- ガバナンス整備
- 職員人事制度改革
- 役員報酬の改定等

外部環境

2022年から2050年へと至る外部環境の主な変化



気候変動

気温は**1.5°C上昇**



少子高齢化

18歳以下人口は**12%減少**
日本の総人口の**1/3が高齢者**に



世界人口増

2050年、世界の人口は**97億人**
日本の人口は1億600万人



テクノロジーの進展

人口知能 (AI) が人類の知能を大幅に凌駕する時代の到来

パーパス

私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心を持った人(サーバント・リーダー)を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。



本学院は、建学の精神に基づいて、地域の未来を支える人を育てます。
地域の多様な社会課題の解決に貢献することで、地域における教育機関として持続的に成長していきます。

諸改革の断行

地域共生社会の実現に向けて貢献する教育機関への変革

第二期中長期ビジョン

2025年のゴールを実現するための経営資源の充実を図る

桃山学院将来構想

パーパスの実現

新市場への挑戦と拡大

中高が大阪府内で難易度順位上昇
桃大がビジネスデザイン学部設置
桃教大が開学、教員採用試験等合格実績向上
ガバナンス整備、職員人事制度改革等で経営基盤を強化

リカレント教育推進事業
地域密着の社会課題解決型学習推進
大学学部学科構成の最適化

地域の社会課題解決実現
更なる成長

2013年度

2023年度

2027年度

2050年度

パーパス実現のための基本戦略

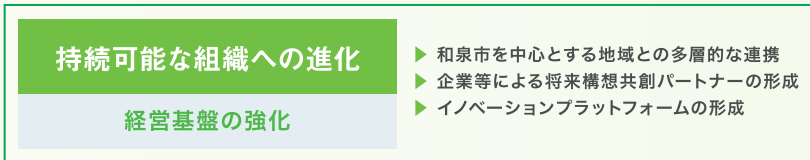


- ▶ 「学修者本位の教育の実現」
- ▶ 学生・学修支援、業務・サービス等のDX
- ▶ データ駆動型のスマートな学校運営の実現



- ▶ 地域密着の社会課題解決型学習の推進
- ▶ キリスト教精神に基づく奉仕精神と志の涵養
- ▶ 徹底した生徒・学生の成長支援

- ▶ 新たな収益基盤の構築
- ▶ 設置学校間連携の強化とキャンパス整備
- ▶ 人事・財務改革



- ▶ 和泉市を中心とする地域との多層的な連携
- ▶ 企業等による将来構想共創パートナーの形成
- ▶ イノベーションプラットフォームの形成

「学修者中心主義」の共通価値創造モデルで生徒・学生の成長度No1の教育機関へ

持続可能な地域共生社会の実現

特色 ①

地域密着の課題解決型学習 (産官学民連携による人材育成)

- 産官学民連携による地域の課題解決型学習 (PBL)、実習、ワークキャンプといったサービスラーニング等による「体験」と「座学」のサイクルを複数回まわし、「世界が変わる体験」として生徒・学生が主体的に成長できる機会を提供
- 実社会の課題解決に取り組むなかで、経済学、経営学、法学、社会学、教育学などの専門理論を学際的に身につける必要性を発見
- 教員、上級生、社会人、生徒・学生同士のフィードバックによるモチベーションの向上と気づきによる主体的な学修への誘い

Knowledge



サーバントリーダー

共通価値 (社会的価値と教育的価値)の創造

社会課題に対する各学問分野からの多面的なアプローチ

特色 ③

徹底した成長支援

- 誰一人取り残さない教育
チューター制度など、教員の対話を通じた徹底した成長支援
- 学修者本位の教育
AIやポートフォリオシステムなど、データに基づく成長支援
- 能動的に成長サイクルを体験した生徒・学生は、卒業後も、自発的に成長できるマインドを習得

Skill



生徒・学生

体験と座学のサイクル

Mind



自由と愛の精神



奉仕の心



高い志

特色 ②

奉仕精神と志

- ESD教育
世界における環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な課題を学び、自らの使命を知り、持続可能な社会の創り手を育む
- いのちの教育
いのちの大切さを学ぶ

地域密着の課題解決型学習 (PBL)
産官学民連携

地域の抱える諸課題 (例)



地域産業の発展



環境問題



少子高齢化

パーパス実現のための行動方針

5つの基本方針

①SDGsの方針

私たちは、地球規模の社会課題を自分事として考え、その解決を目指して新しい価値を創造する人を育て、地域から、持続可能な社会を実現します。この目標は、国際連合の持続可能な開発目標(SDGs)に合致し、これを支援するものです。

②カーボンニュートラルの方針

私たちは、持続可能な社会の実現に貢献すべく、2030年(遅くとも2040年)までに各キャンパスのカーボンニュートラルを実現します。

③DXの方針

私たちは、デジタル技術を積極的に取り入れ、「学修者の成長支援」、「学修者本位の教育の実現」および「学びの質の向上」に資するための取組と環境整備に挑戦し、ポストコロナ時代における新たな教育手法の具体化を図り、その成果の普及を図ります。

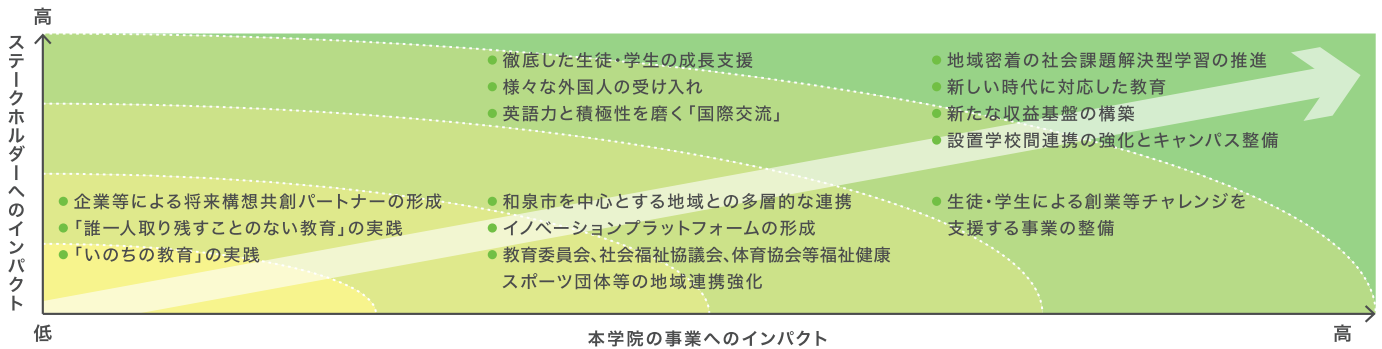
④ガバナンスの方針

私たちは、教育・研究活動を通じて、生徒・学生の成長のために奉仕することを誓います。そして、公的な存在としての教育機関として、その責務を果たし、広く社会の一員として貢献する学校法人であることを念頭に管理運営を行います。

⑤事業マネジメントの方針

私たちは、継続的かつ安定的な教育事業の継続のためのリスクマネジメントに加え、サステナブルでレジリエントな組織への転換を図るため、新たな事業領域への挑戦と既存事業の最適化に取り組みます。

持続的成長のためのアクションプラン



パーパス実現のためのキャンパス整備構想

これまでのキャンパス整備の考え方を「グレート・リセット」、
カーボンニュートラル等、環境配慮した未来志向の循環社会型キャンパスで人を育てます。

本学が有する豊富な知見と叡智で、地域から未来社会の課題を解決する

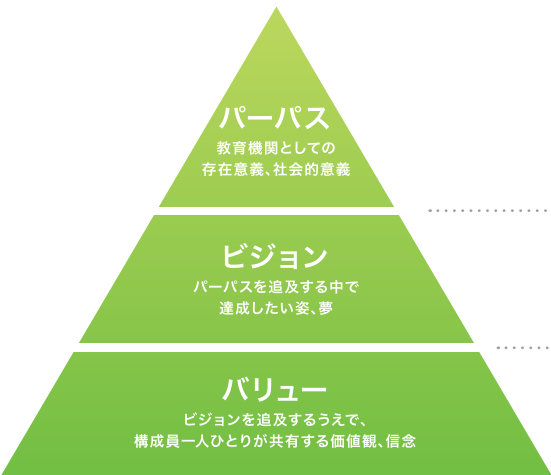


「地域から、持続可能な未来の社会を想像し、創造する」
訪れるすべての人がワクワクする、未来社会創造キャンパス

桃山学院将来構想



キリスト教精神に基づく教育を通じて、
社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人
(サーバント・リーダー)を輩出し、持続可能な地域共生社会を実現する。



「地域と共に発展する」

SDGsを推進し、地域における社会課題を解決し、持続可能な社会を共創する。

生徒・学生の成長第一
- 人を大切にする -

奉仕精神
- 皆のために能力を発揮する -

改革精神
- 大胆に挑戦する -

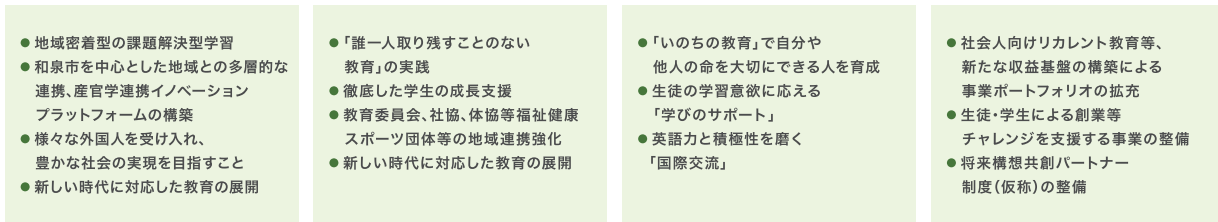
社会価値



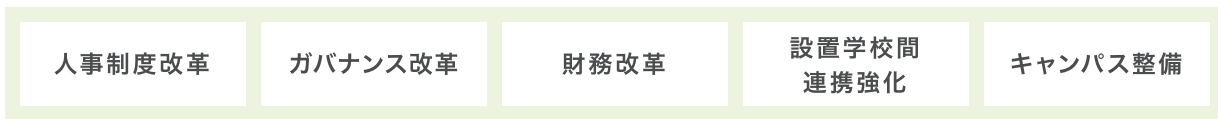
実現目標



アクション



経営基盤



アクションプラン(2023年度~2027年度)



建学の精神を原点に、地域の社会課題解決のための教育研究活動を
生徒・学生の成長機会と位置づけ、持続可能な地域社会を実現します。



学校法人 桃山学院

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

TEL:0725-92-7026

<https://www.andrew.ac.jp/gakuin/>